

Fuki Osumi

Akio Tsuchitani

Takeo Hanawa

Tomomi Kozaki

学生

大壽美 楓季

土谷 明生

埴 武郎

狐崎 知己

教授

2年

大壽美 楓季 さん

Fuki Osumi



**国際経済学科はどんな学科ですか？
これから何をしたいですか？**

大壽美) 国際的な視点から各国の経済や社会の歴史、現状を学ぶカリキュラムが充実しているのが魅力ですね。「国際経済と地域」という授業では、先生方が毎週入れ替わるオムニバス形式で授業が展開され、先進国から途上国まで様々な現状について知ることができました。これからは公共放送(PBS)等の時事ニュース、埴先生からお聞きするアメリカの社会事情などを参考にして、アメリカでの現地調査も行ってみたいです。海外に出向くことが難しい状況ですが、渡航が可能になるその時までには少しでも知識と語学を磨き、現地で力を発揮できるように準備したいですね。

「国際的な視点で学べるカリキュラムが充実しています。」

「国際経済だけでなく全世界の地域言語も修得できます。」

**国際経済学科の魅力は何ですか？
学生はどんな力を身につけられますか？**

埴) そうですね。大壽美さんの言う通り、本学科の最大の魅力は、先進国、新興国、第三世界など全世界エリアの経済事情を熟知する教授陣がいることに加え、国際経済の修得と同時に全世界の地域言語も修得できるカリキュラムを運用していることです。実際の海外での学習に関心がある方にもピッタリの学科ですね。経済学と語学に加え、自分で実際に仮説を立て、仮説を実証すべく現地調査に出向くことで、事実を発見する意欲と行動力が身につきます。自らの頭・手・心で解決策を考え、提言する。この醍醐味を感じながら、ぜひ教授陣や仲間とともに学びを深めてください。

埴 武郎 教授

Takeo Hanawa



3年

土谷 明生 さん

Akio Tsuchitani



**国際経済学科では何ができますか？
将来は何をしたいですか？**

土谷) グローバル化が進展し続ける現在の国際経済を多角的に学んでいる中で感じているのは、世界の国や地域を歴史や文化、国際協力などで比較して、自ら問題を考え分析し、解決策を導く力を身につけることができるということ。そして、高校までとは違い、ディスカッションやプレゼンテーションの機会が多いことです。日本や他の先進国、発展途上国がこれからどのように成長していくのか、また中国の存在が先進国、途上国に及ぼす影響についても興味があります。将来は培った経済的な思考や語学力を活かして、グローバルな社会での活躍や貢献に繋がっていきたくです。

「学びをグローバル社会での貢献に繋がっていきたくです。」

「世界的視野から経済活動をとらえ、自ら考える力を養いましょう。」

**国際経済学科で得られる学びは何ですか？
学生には何を期待しますか？**

狐崎) 私のゼミナールでは「途上国の貧困と開発」というテーマで最新の開発経済学の理論を学び、途上国の多様な経済活動を現地の人々の視点から内面的に分析、理解する力の修得を目指しています。土谷さんも毎週4時間以上、議論や発表を行っています。感心するほど豊かな共感が身についています。経済の基礎力と語学力を身につけるには、地道な努力が欠かせません。自ら「学ぶ意義」を見つけ「楽しい学びの場」が必要なのです。このような「社会的な学習」の場があるのも本学科の魅力。世界的視野から経済活動をとらえ、自ら考える力をともに養いましょう。

狐崎 知己 教授

Tomomi Kozaki

